

平成 28 年（2016 年） 2 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（ 2 日目）

平成 28 年 2 月 23 日（火）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	大 浜 安 史 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 防災行政について 2 教育行政について 3 那覇市市営住宅活用用地について 4 子どもの視点に立った環境づくりについて	平成 28 年 2 月 7 日午前 9 時 31 分、北朝鮮から「人工衛星」と称す弾道ミサイル発射がされた。市民への安全対策として緊急通報システム作動経過について伺う 第 1 次那覇市教育振興基本計画の成果・課題、具体的な取り組みについて、第 2 次那覇市教育振興基本計画の中に盛り込まれているのか伺う (1) I C T 教育環境整備及び教育の情報化推進計画の取り組みについて (2) 生涯学習センター建設について 那覇市市営住宅活用用地の目的及び実績と評価、今後の取り組み状況について (1) 宇栄原市営住宅・久場川市営住宅・石嶺市営住宅の目的、実績について (2) 現在造成完了している南側の活用用地の取り組みについて(石嶺市営住宅) 施政方針の中で「平成 27 年度より、不登校の児童生徒に対する支援の拡充として「自立支援教室（きら星学級）」の「第 2 教室」を設置しました。」とある 事業の成果と今後の取り組みについて

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 子どもの貧困対策について	施政方針の中で、「今年度より、国の大きな後押しを受けて、子どもに寄り添う支援員を、見守りの拠点となる学校へ順次配置してまいります。さらに子どもの居場所を増設するなど、問題を抱えている児童生徒への支援を拡充します。」とある。次の点について伺う (1) 子どもに寄り添う支援員について (2) 見守り拠点となる学校へ順次配置することについて (3) 子どもの居場所を増設することについて 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	屋 良 栄 作 (ひやみかち那覇・無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 那覇市 I T 創造館について	(1) 12 月定例会にて議案が否決されたことに対する見解を伺う (2) 4 月以降の運営をどのように行う考えか伺う。現在のパフォーマンス(実績)を維持できるか伺う (3) 現在の指定管理者による運営について、12 月定例会において大概良好という答弁(企画財務部長)があった一方で、現行運営について問題視する陳情も提出されている。当局の見解を伺う
		2 ジュリ馬まつりについて	かつて那覇市の三大まつりに位置づけられていたジュリ馬まつりについての見解を伺う
		3 子どもの貧困対策について	(1) 地域で子どもに支援している子ども食堂等についての現況と、今後の取り組みについて伺う (2) 今回の補助金のあり方についての見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	花 城 正 樹 (なは民主)	1 空手道振興課について	(1) 県が4月1日から空手振興課を設置する。 当局の見解を伺う (2) 本市として空手道班(課)を設置するべき だと考えるが、見解を伺う
		2 文化行政について	地域文化芸術公演について、目的と開催時期を 伺う
		3 かりゆし制服について	名護市の小中一貫校では、新しい制服に『かり ゆしウェア』が導入されることになった (1) 当局の見解を伺う (2) 本市も取り入れたらどうか伺う
		4 公園行政について	公園再生計画推進事業について、今後のスケジ ュールを伺う
		5 珊瑚舎スコ ーレについて	本市との関わりについて(現状)、伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	奥 間 亮 (自 民 党)	1 保育行政について	若いお父さんお母さん方への子育て支援を充実させるために、待機児童の解消、保育士の皆様へのサポートをさらに拡充すべきである そのために、平成 28 年度の国の保育対策関係予算を十分に活用すべきであるが、本市の今後の取り組みについて伺う
		2 子どもの貧困対策について	子どもの貧困対策については、様々な考え方と多岐にわたる分野が存在する 私は、数ある施策の中でも「学習支援」と「高校・大学進学への支援」の二本柱こそが、貧困の世代間における負の連鎖を断ち切る政策だと考えているが、本市の見解と、それを踏まえた今後の取り組みを伺う
		3 「人口ビジョン」と「総合戦略」について	(1) 「那覇市の人口ビジョン」「那覇市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたっては、不妊に悩む方々への支援を第一に優先すべきである。見解と取り組みについて伺う (2) 総合戦略を策定し、進めていく中で、「子育て」「教育」「人材育成」を充実させる政策を、重点的に進めるべきである。見解と取り組みについて伺う
		4 金城中学校の環境整備について	金城中学校のグラウンド(運動場)は、表土が薄くなり、石が表面に出やすく、転倒した際の怪我が心配されている 金城中学校の子どもたちのみならず、小緑地区大運動会では多くの小緑全域の皆様が使用されるため、早急にグラウンドを整備すべきである。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	清 水 磨 男 (なは民主)	1 「ひと」行政 について	(1) 保育園に子どもを預けている保護者が、さらに出産となった際の対応を問う (2) 幼稚園給食に対する進捗を問う (3) 専任園長に対する進捗を問う (4) 専科教育の配置について問う (5) トイレの使用実態について問う
		2 「つなぐ」行政 について	(1) 婚姻や出生と離婚や死亡の届出窓口を分けてほしいという声に対して、那覇市の見解を問う (2) 同性パートナーがいると申告した職員への対応を問う (3) 動物愛護センターの進捗について問う
		3 「まち」行政 について	(1) 観光バスの違法駐車状況について問う (2) 地域の地図看板の状況について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	我如古 一 郎 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 健康なは 21 (第 2 次) に ついて 2 第 3 次那覇 市地域福祉計 画について 3 地域自治会 公民館(集会 所)について	(1) 特定健診の受診率と、その受診データで、本市のメタボ率、有所見率、保健指導からの医療機関受診率を問う (2) 特定健診の受診率を引き上げるための取り組みと地域個別訪問での成果を問う (3) 本市の公共事業で、指定管理や委託を受けた企業・事業所の従業員の受診状況を把握しているか (4) 医療機関での特定健診受診率を問う。病気治療中の方の受診率が低い要因を問う (5) 健康増進対策の一つとして、市内の全ての公園にストレッチ器具の設置を進めるべきではないか 第 3 次那覇市地域福祉計画において、地域の支え合いの仕組みづくりや、高齢者の見守りなど、地域自治会の位置づけを問う (1) 市内の自治会公民館(集会所)で老朽化している所は何カ所と推定されるか (2) 自治会公民館、集会所を利用している地域ふれあいデイサービスは何カ所か。この事業の果たしている役割を問う (3) 自治会公民館の老朽化により、特定の地域のふれあいデイサービスが実施不可能になることや、元気なお年寄りの居場所がなくなるとは、避けなければならない。どのように認識しているか。見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 道路行政について	那覇市道、真地 2 号の真地橋は下を覗くことができるほど欄干の隙間が大きすぎるのが指摘されていて、この橋の高さがたいへん怖いとの市民の声がある。欄干から下を走る県道 82 号線（環状 2 号線）までの高低差はいくらか。小学生から高校生の通学路でもあり、きちんとした網目の転落防止柵などを設置すべきではないか。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	平 良 識 子 (社社市民ネット) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 ひとり親家庭の支援について	(1) 母子家庭自立支援給付金事業における母子家庭高等職業訓練促進給付金について伺う (2) ひとり親家庭の親の経済自立のため、学び直しをする親に対し、どのような支援があるか
		2 教育行政について	こども国際映画祭における本市の取り組み支援について伺う
		3 那覇・福州友好都市交流シンボルづくり事業について	龍柱の建つ位置は、クルーズ船バースからの世界の外国人観光客を迎える沖縄の玄関口であり、那覇市の顔である。龍柱周辺の整備について、電線類地中化、看板規制、植栽等の周辺環境整備が必要と考えるがどうか
		4 自然葬について	本市における自然葬の対応について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長